

ユーザーズガイド **ALF**

ハンディターミナル

品番 **ALF ARK-900**

ご使用前に必ずこのユーザーズガイドをよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に
保管してください。



このたびはハンディターミナル（ALFARK-900）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機が十分な性能を発揮できますよう、正しい取り扱いをお願い致します。

記載内容に関するご注意

本書では、ハンディターミナルをご使用になる上での、基本的な取り扱い方法について説明しております。日常業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。

本書では、本機のプログラム方法、ダウンロード方法などは記述しておりません。別紙資料をご覧ください。

本書は間違いや、誤記の無いように注意して編集しております。万一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめ、ご了承ください。

本書の内容に関しては改良などにより、将来予告なく変更することがあります。

運用に関するご注意

本機は海外ではご使用になれません。（For use Japan only）

本機は日本国内で使用する仕様となっており、海外の規格には準拠しておりません。よって、海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。

お客様の運用に関して生じた結果につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

保存データの損失、故障、修理や電池交換の際のメモリ内容の変化、消失および本機仕様により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



安全上のご注意

(必ずお読みください)







ご使用の前に必ず、安全上のご注意をお読みの上、正しくお使いください。
本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示(記号)を使っています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるようお手元に保管してください。

表記の意味




このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。
記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。







傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

	一般禁止 その行為を禁止します。		火気禁止 外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。
	接触禁止 特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。		分解禁止 分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。
	水ぬれ禁止 水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。		ぬれ手禁止 ぬれた手で扱おうと感電する可能性を示します。




傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。		電源コードのプラグを抜くように指示するものです。
	ビームをのぞきこまないように指示するものです。		






本体使用上の警告

 警告	
	<p>レーザー光をのぞきこまない。 長時間直視すると、レーザー光によって目に障害が起こるおそれがあります。</p>
	<p>煙や異臭、異常な音、手でさわれないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。 そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、販売店にお問い合わせください。</p>
	<p>雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、ACアダプタ、モジュラーケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。 落雷による感電のおそれがあります。</p>
	<p>ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。 窒息事故などを起こすおそれがあります。</p>
	<p>歩行中または運転中に操作しない。 転倒や交通事故などの原因になります。</p>

電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

 警告	
	<p>電源はAC100V（50/60Hz）を使用してください。 異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用（日本仕様）です。</p>
	<p>電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落下させたり衝撃を与えない ・つけ根部分を無理に曲げない ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない ・重いものをのせない ・布などでくるまない ・屋外で使用しない <p>守らないと、発煙、発火、火災、感電の原因になります。 また、本機には必ず、指定のACアダプタ（電源コード含む）を使用してください。指定のACアダプタ（電源コード含む）は他の製品に使用しないでください。使用したことによる損害などについては、一切その責任を負いかねますのでご了承ください。</p>

⚠ 警告

	<p>破損した電源コードは使用しないでください。 電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。 修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。</p>
	<p>電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまっただまの状態では本機を使用しないでください。 電源コード、ACアダプタのプラグにほこりがたまっただま使用していると、プラグのピンの中で放電（トラッキング現象）がおこり、火災の原因になります。</p>
	<p>電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格100Vのコンセントに直接差し込んでください。 やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁（二重被覆）のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に充分注意するようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・落下させたり衝撃を与えない・折れ曲がった状態で使用しない・つけ根部分を無理に曲げない・重いものをのせない・布などでくるまない・屋外で使用しない・破損したコードを使わない・奥までしっかり差し込む・プラグにほこりがたまっただまの状態では使用しない・プラグ部をコンセントに正しく挿入する・コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く・ぬれた手で触らない <p>延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因となることがありますので充分ご注意ください。</p>
	<p>ぬれた手で触らないでください。 電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本機に触ると、感電の原因になります。</p>
	<p>タコ足配線にしないでください。 電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。</p>

バッテリーパック・副電池使用上の警告

警告



バッテリーパック・副電池を、ショート、加熱、または火の中に入れてください。

ショート、加熱、または火の中に入れると、発熱、発火、爆発、破裂する恐れがあり、けがや火災の原因になります。



副電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

電池内部には有害物質が含まれているため、誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

レーザー使用上の警告 (J I S C 6802 : 2005)

警告

レーザー放射

ビームをのぞき込まないこと










クラス2レーザー製品

最大出力 1.0 mW 未満



発光波長 650 ± 10 nm

製品をクラス分けした規格の名称と発行日付 J I S C 6802 : 2005

本体使用上の注意






⚠️注意	
	<p>本機を改造、分解しないでください。 感電、発煙、発火の原因になります。</p>
	<p>本機の内部には触らない。 内部端子には手を触れないでください。故障の原因になったり、感電のおそれがあります。</p>
	<p>破損した場合はそのまま使用しないでください。 万一、本機を落としたり破損した場合は、電源スイッチを切り、お買い上げになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。</p>
	<p>本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。 発熱、発火、破裂の原因になります。</p>
	<p>本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。 ・風呂場など湿気の多い場所 ・調理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所 感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにして販売店にお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。</p>
	<p>本製品の内部に次のような異物を入れないでください。 ・金属物 ・水などの液体 ・燃えやすい物質 ・薬品 回路がショートして火災の原因になります。</p>
	<p>本機の使用時や使用直後は、温度が高くなる部分がありますので注意してください。 特に、本体底面、本体側面のコネクタ、ACアダプタの表面、コンパクトフラッシュカードの周辺などが高温になる場合があります、やけどなどのおそれがあります。</p>
	<p>不安定な場所に置かないでください。 落下してけがをするおそれがあります。</p>
	<p>内蔵のFAXモデムは、一般の電話回線にのみ対応しています。 一般の電話回線以外に接続しないでください。故障、発熱、破損の原因となります。</p>

⚠注意

	先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。
	液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。
	液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師に相談してください。


電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠注意









	指定のACアダプタを使用し、ACアダプタを分解、改造しないでください。指定以外のACアダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。 ACアダプタ型番：ALFARK-600AC
	電源コード、ACアダプタ等の接続の際は、次の点をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">・正しい向きで接続する・電源コードをACアダプタに接続する際は、奥までしっかり差し込む 発煙、発火、火災、感電の原因になります。
	お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。 電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。
	長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 絶縁劣化による漏電火災の原因になります。
	ACアダプタと本体の接続部（DCコネクタ部）については、次の点をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">・接続部をこじらない・運搬、移動時は接続をはずす・接続コードを傷つけない 発煙、発火、やけどのおそれがあります。 また、故障等で過熱している場合もありますので、接続部を触るときは充分ご注意ください。

バッテリーパック・副電池使用上の注意

⚠注意

	バッテリーパックは指定の充電方法以外では充電しないでください。 マニュアルに記載の方法以外の充電方法にて充電すると、発熱、発火、液もれすることがあります。
---	--

⚠注意

	<p>指定のバッテリーパックを使用し、バッテリーパックを分解、改造、あるいは衝撃をあたえないでください。</p> <p>分解、改造、あるいは衝撃をあたえると、発煙、発火、破裂、液もれの原因になります。</p> <p>また、弊社指定のバッテリーパック以外を使用された場合、保証の対象外となります。</p> <p>バッテリーパック型番：ALFARK-800BP</p>
	<p>副電池を分解しないでください。</p> <p>有害物質が出て、人体に悪影響を及ぼすことがあります。</p>
	<p>バッテリー充電中は、バッテリーパックおよびその周辺が多少熱くなることがあります。</p>
	<p>副電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。</p>
	<p>副電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。</p> <p>やけどのおそれがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。</p>
	<p>必ず指定の副電池を使用し、(+) (-)を正しく入れてください。</p> <p>指定の副電池以外の電池を使用したり、副電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。また、使い切った副電池はすぐに機器から取り出してください。</p>
	<p>副電池を直接はんだ付けしないでください。</p> <p>直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因となります。</p>
	<p>バッテリーパックの取り付け/取り外しを行う場合には、指をはさまないように注意してください。</p>

バッテリーパック・副電池の廃棄について

この製品にはリチウムイオン電池を使用しています

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください



Li-ion




- ・この製品には、密閉形蓄電池（リチウムイオン電池）を使用しています。密閉形蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった密閉形蓄電池、及び使用済み製品から取り外した密閉形蓄電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙・発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げになった販売店または充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<リサイクル時の注意>

密閉形蓄電池はショートしないようにしてください。火災、感電の原因となります。また、外装カバー（被覆・チューブなど）をはがしたり、密閉形蓄電池を分解したりしないでください。



周辺機器使用上の注意

⚠注意

	周辺機器は、マニュアルに記載の手順に従って正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。
	モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。 電話回線と接続しているモジュラージャックを抜いたときに電話がかかってくると、電話回線上に電圧がかかるため、端子に触れると感電のおそれがあります。
	モジュラーケーブル(電話線)は、使うとき以外は接続しないでください。接続したまま放置しておくと、予期せぬ通話料を請求される場合がありますのでご注意ください。

健康上の注意

⚠注意

	液晶ディスプレイを長時間継続して見ないでください。 液晶ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。
	操作キーを長時間継続して使用しないでください。 操作キーを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。操作キーを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

大切なデータは定期的にバックアップしてください。



- ・お客様または第三者が本機を誤使用あるいは使用中の故障、電池の寿命などにより記憶されたデータが消えたり、変化したことによる損害については当社は一切その責任を負いません。
- ・本機内部のメモリは電池が消耗したまま放置したり、電池交換が正しく行えない状態が続くと一定の電源が供給されません。このような場合、内部データが消えてしまったり、変化してしまうことがあります。1度消えたデータは元に戻すことはできませんので、大切なデータは必ずバックアップ(コピー)しておいてください。

製品保護上のご注意

本機の取り扱い上の注意

次のような場所では、使用 / 保管しないでください。

誤動作や故障の原因となることがあります。

ホコリが多い場所 / 衝撃や振動が加わる場所 / 不安定な場所 / 暖房器具の近く / 磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く / 長時間直射日光が当たる場所 / 落下の可能性がある場所 / テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く / 熱のこもる場所 / 水分や湿気の多い場所 / 夏の閉めきった自動車内 / 薬品や液体の近く / 腐食性ガス（オゾンガス）が発生する場所

次の環境で使用してください。

温度 5 ~ 35 、湿度 20% ~ 80%（結露しないこと）

本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- ・ 落としたりぶついたりしないでください。
- ・ 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因となることがあります。
- ・ 本機の上にものを載せないでください。
- ・ 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- ・ 先のとがったもので傷付けないでください。
- ・ 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- ・ テレビ、ラジオなどと同じ AC コンセントを使わないでください。

長時間使用しないときは、AC アダプタの電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っばって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因となることがあります。

ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたり引っかけたりして、本機の故障の原因になります。

使用上のご注意

(必ずお読みください)

機器本体について

本機に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。



テレビやラジオなど、強い磁界を発生するものの近くや、静電気の発生しやすい所で使用しないでください。機器本体の動作に悪影響を与えることがあります。



本体表面の汚れはやわらかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

表示部の汚れはやわらかい布で拭き取ってください。アルコールやシンナー、あるいはベンジンなどの有機溶剤、研磨剤を含む洗浄剤は本体表面を変色させたり溶かすことがありますので絶対に使用しないでください。

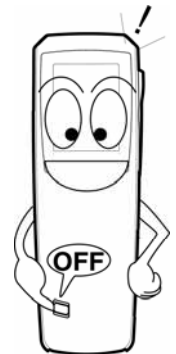


LCD 表示部は強く押ししたり、こすったりしないでください。故障の原因となります。

周辺機器との接続や本体の電池を交換するとき、あるいは掃除するときなどは、AC アダプタが外れていること、本体の電源スイッチが切れていることを確かめてから行ってください。



一般注意



3 秒以上押す

次のような場所での使用や保管は避けてください。

- ・ 車のダッシュボードやトランク
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 高温多湿な場所
- ・ ほこりや振動の多い場所



● 目次

記載内容に関するご注意	1
運用に関するご注意	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	12
機器本体について	12
同梱品の確認	14
各部の名称と機能	15
操作キーと機能	16
電源の接続	18
バッテリーパックの接続	18
AC アダプタの接続	19
電源のオン / オフ	19
バッテリーパック	20
バッテリー駆動	20
バッテリーの充電	21
バッテリーパックの交換	22
省電力機能	24
副電池の交換方法	25
副電池（リチウムボタン電池）を交換します	25
周辺機器の接続方法	27
コンパクトフラッシュカードスロット	27
バーコードの読み取り方	28
モデム認証番号の確認方法	29
モデム基板の取り外し方法	29
主な仕様	31

● 同梱品の確認

お買い上げいただいた本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店、または弊社までご連絡ください。

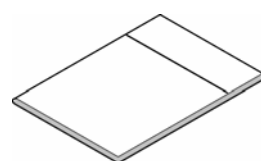
本体



バッテリーパック (1 個)



取扱説明書 (本書)



副電池 (リチウムボタン電池)

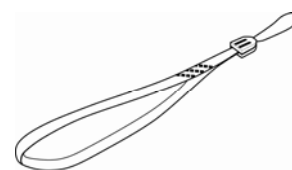
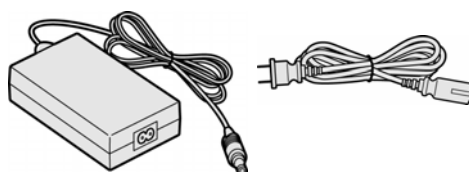


別売品

AC アダプタ (電源コード含む)

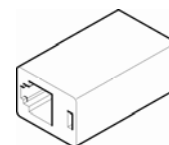
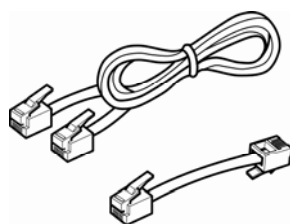
ハンドストラップ

充電台
ARK-900ST



モジュラーケーブル (2 本)

モジュラージャック



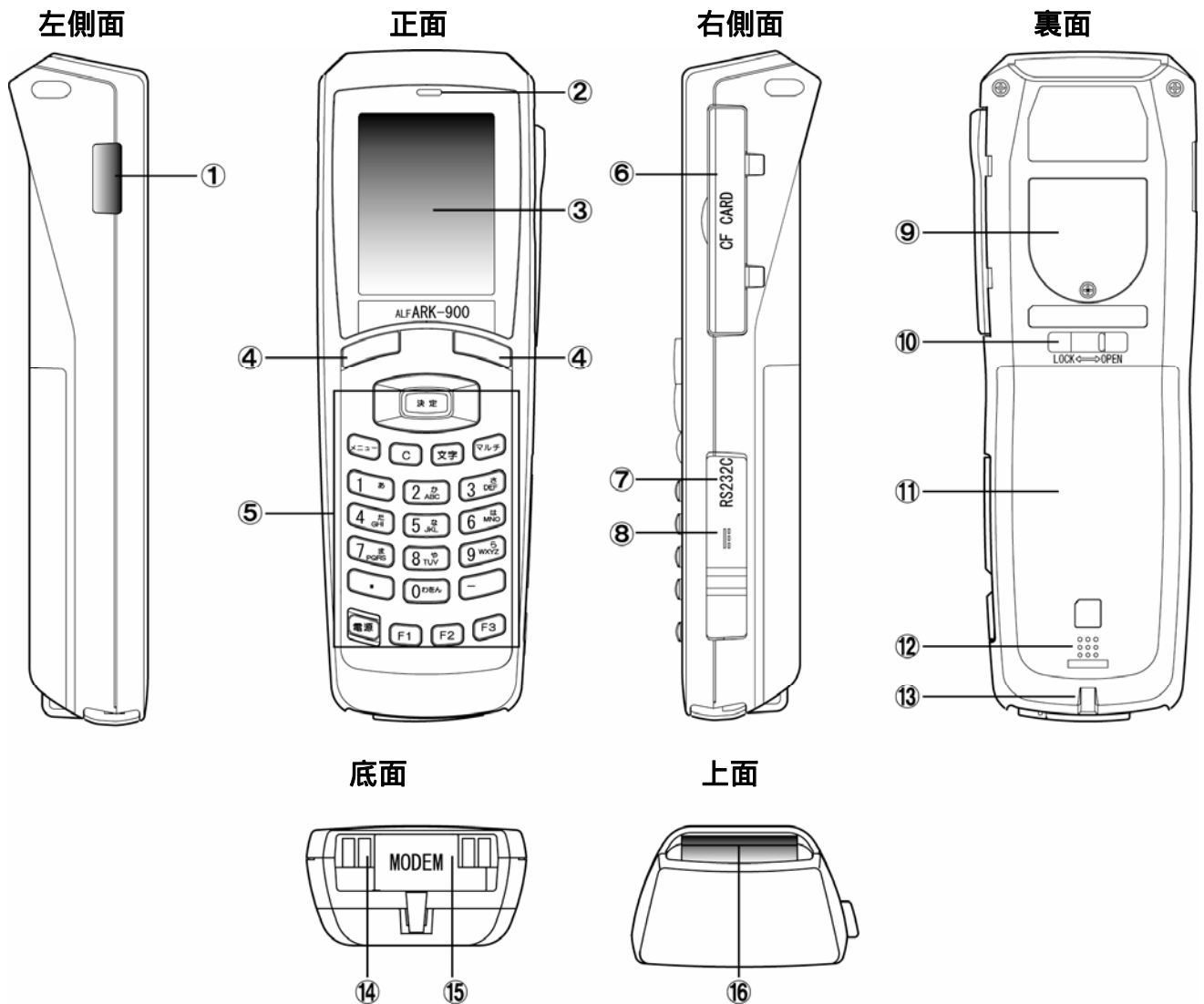
はセット販売になります。

ご注意

- ・別売品および電池などの消耗品は当社推奨のものをご使用ください。
- ・副電池は装置出荷時に搭載しておりますが、電池の容量に関しましては保証致しません。

本機の性能を発揮させるために当社推奨の消耗品や別売品を使用されることをお勧めいたします。推奨品以外のものを使用された場合、本機の性能を十分発揮できない場合があります。

各部の名称と機能



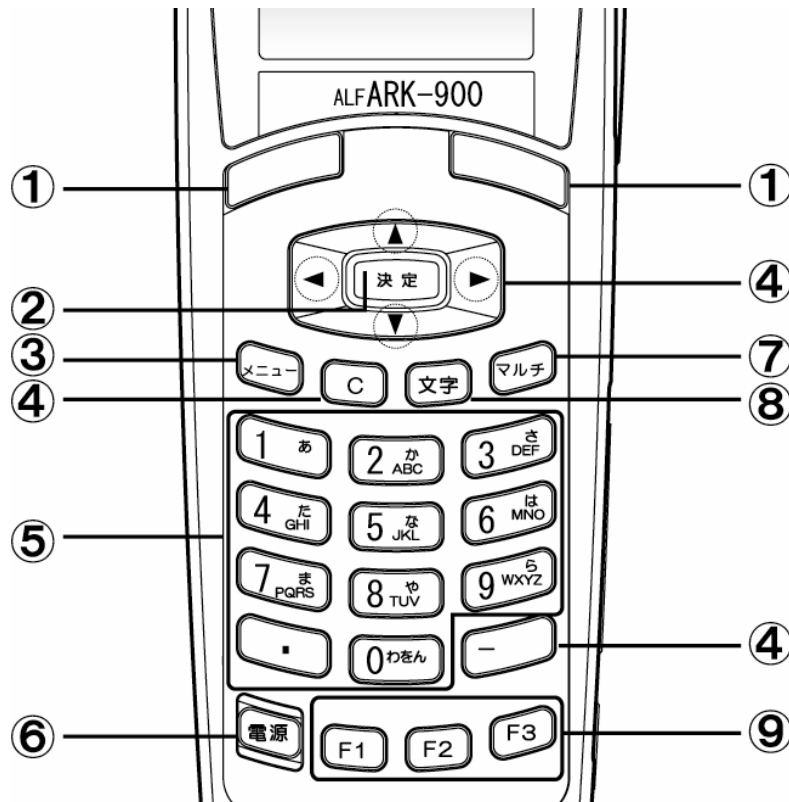
名称	機能
赤外線インタフェース	非接触型赤外線通信部です。(IrDA Ver1.2 準拠)
ステータス LED	バッテリーの状態を表示します。
LCD 表示部	プログラムの内容を表示する液晶ディスプレイです。
トリガキー	バーコード読み取りを行うための操作キーです。
操作キー	電源キー、制御キーなど 25 キーを装備しています。
CF カードスロット	コンパクトフラッシュカード I/F の無線 LAN カードなどを接続します。
シリアル通信コネクタ	RS232C 通信を行う場合に使用します。
DC-IN 端子	AC アダプタを接続します。
副電池収納部	メモリバックアップ用のボタン電池が格納されています。
ロックレバー	バッテリーパックを交換する際、ロックを解除し、カバーを外します。
バッテリー収納部	バッテリーパック (リチウムイオン電池) が格納されています。
ブザー	ブザー音を出力します。

ストラップ取付部	ストラップを取り付けることができます。
ステーション インタフェース	充電台 ARK-900ST (別売品) との接続部です。
モジュラーコネクタ	モジュラーケーブルで電話回線と接続します。
バーコードスキャナ	レーザ光を照射して、バーコードを読み取ります。

アプリケーションソフトの仕様により表示状態が異なります。

操作キーと機能

操作キーの名称と機能について説明します。



名 称	機 能
トリガキー	バーコードの読み取りを行うための操作キーです。
決定キー	入力を確定 (登録) します。
メニューキー	メニューを表示します。
制御キー	◀ : カーソルキー () ▶ : カーソルキー () ▶ : カーソルキー () ◀ : カーソルキー () C : BS キー。1 文字削除します。 - : マイナス記号の入力。
数値、小数点キー	数値、英字、日本語を入力するためのキーです。 数値入力 (全角/半角): 0 ~ 9、小数点 英字入力 (全角/半角): 英字 (A ~ Z/a ~ z) 日本語入力 (全角/半角): ひらがな (あ ~ ん)、カタカナ (ア ~ ン)

電源スイッチキー	電源 (POWER) を ON/OFF したり、サスペンド機能を利用したりするためのキーです。
マルチキー	Windows のスタートメニューを表示します。
文字キー	文字の入力モードを切り替えます。
ファンクションキー	F1 : マウスカーソルの表示 / 非表示を切り替えます。 F2 : TAB キー。 F3 : スペースキー。

各操作キーの動作はアプリケーションにより、異なる場合があります。

● 電源の接続

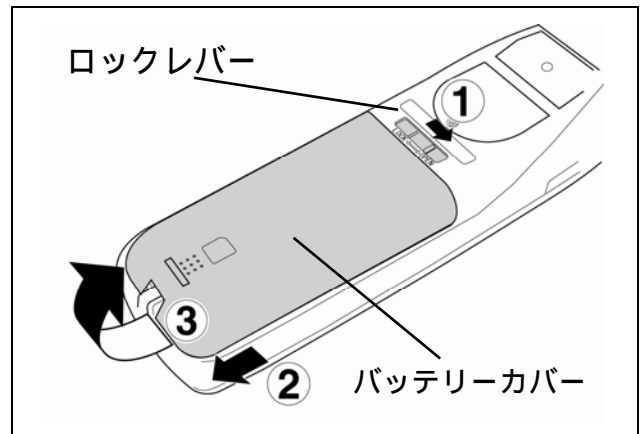
本体の起動に必要な機器を接続します。

本体は、AC アダプタを AC コンセントに接続しているときは、AC 電源で駆動、AC コンセントから AC アダプタを抜くとバッテリー駆動に切り替わります。

バッテリーパックの接続

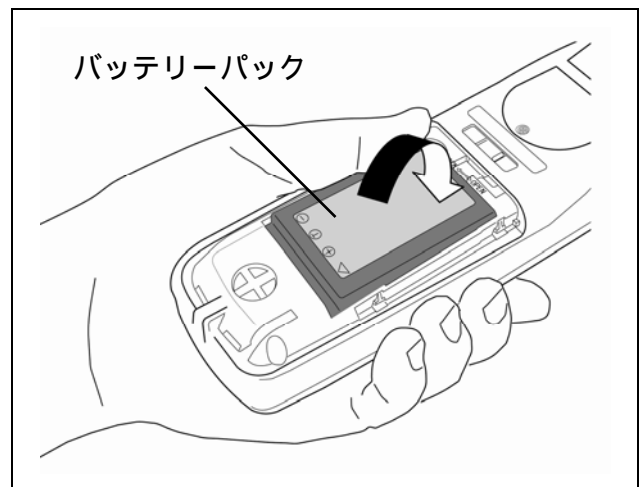
1 本体を裏返します

AC アダプタが接続されていないことを確認し、ロックレバーを矢印の方向（OPEN 側）へスライドさせます。バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせます。バッテリーカバーを持ち、上に引き上げて取り外します。



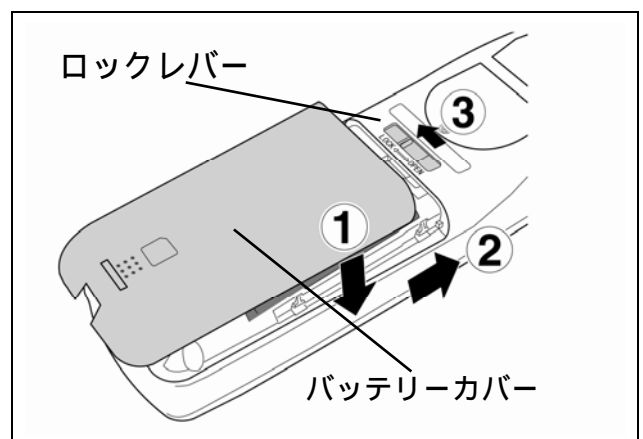
2 本体に同梱のバッテリーパックを、図のような方向に取り付けます

バッテリーパックを取り付けるときは必ず、本体を手にとって行ってください。バッテリーパックは必ず本体専用バッテリーパックをご使用ください。その他の電池を使用すると故障の原因となります。



3 バッテリーカバーを閉めます

バッテリーカバーを矢印の方向へ差し込みます。バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせカバーを静かに閉めます。ロックレバーを矢印の方向（LOCK 側）へスライドさせます。バッテリーカバーが確実にロックされていることを確認します。バッテリーパックを外す場合は、上記逆の手順にて行ってください。



ACアダプタの接続

- 1 バッテリーパックを接続したら、ACアダプタを本体のDC-IN端子に接続します
- 2 ACアダプタに電源コードを接続し、電源コードのプラグをACコンセントに差し込みます

プラグをACコンセントに差し込むとステータスLEDがオレンジ色に点灯して、バッテリーの充電が始まります。

バッテリーが満充電になるとステータスLEDが緑色に点灯します。

電源のオン/オフ

ここでは、電源のオン/オフのしかたについて説明します。

電源を入れる

- 1 電源スイッチを長押し（約 3 秒）します
キーボードのイルミネーションの点灯とバイブレーションが動作し、起動画面が立ち上がったなら手を離します。

電源を切る

- 1 電源スイッチを長押し（約 3 秒）します
「電源ダウン」の画面が表示されます。
- 2 決定キーで「はい」を選択します
シャットダウン処理が始まり、データ保存中の画面が表示されます。
その後、キーボードのイルミネーションの点灯とバイブレーションが動作し、装置の電源が切れます。
長時間使用しないときは、装置の電源を切っても一部の回路には通電していますので、ACアダプタおよびバッテリーパックを外して保管してください。

省電力機能を使用する場合

サスペンド状態にする

- 1 電源スイッチを短押し（約 1 秒）します
作業中のままの画面で表示部（LCD）が消え、見た目上電源が切れた状態になります。

サスペンド状態から復帰する

- 1 電源スイッチを短押し（約 1 秒）します
サスペンドしたときの画面の状態に戻ります。

● バッテリーパック

バッテリー駆動

AC アダプタを本体から取り外すと自動的にバッテリー駆動になります。

動作時間

満充電のバッテリーパックを取り付けて使用できる時間は次の通りです。ただし、装置の使用環境、周辺機器の接続状況、バッテリーパックの劣化状態などに応じて時間は異なります。

動作時間	約 10 時間
------	---------

使用条件：弊社規定の測定条件による（P32「主な仕様」参照）

バッテリー残量の確認

バッテリーのみで使用中は、バッテリーの残量に注意してください。バッテリーの残量は「設定」「コントロールパネル」「パワーマネージメント」の「バッテリー」タブ（メインバッテリー側）で確認できます。

使用上の注意

- ・ AC アダプタ接続中のバッテリー残量は表示されません。

「バッテリー」タブでバッテリーの残量を確認し、残量が低くなったら、以下の手順に従って速やかにバッテリーの充電を行ってください。

状態	警告内容
OK	
低	バッテリーが不足しています。充電してください
残りわずか	シャットダウン警告画面が表示されますので、すぐに充電してください。充電しないと、2分後にシャットダウン処理が始まり、データを保存し自動的に電源が切れます。

AC コンセントが使えないとき

すぐにAC コンセントを使用できないときは、使用中のアプリケーションを終了して、本体の電源を切ってください。

AC コンセントが使えるとき

本体に直接充電する場合

使用中の本体にACアダプタを接続しプラグをACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。充電中はステータスLEDがオレンジに点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。バッテリーを充電しながら本体を使用することもできます。

ARK-900STから充電する場合

ARK-900ST(別売品)の電源プラグをACコンセントに接続し、本体をARK-900ST(別売品)にセットすると、自動的にバッテリーの充電が始まります。充電中はステータスLEDがオレンジに点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。充電中は本体を使用することはできません。

バッテリー残量が少ないままバッテリーのみで使用していると、シャットダウン警告画面が表示され、2分後にシャットダウン処理が始まります。シャットダウン処理が始まると、データを保存し自動的に電源が切れます。

バッテリーの充電

充電時間

バッテリーの充電時間は、次の通りです。ただし、装置の使用環境、周辺機器の接続状況、バッテリーパックの劣化状態などに応じて時間は異なります。

充電時間	約 2.5 時間
------	----------

完全放電または充電せず長期間放置(過放電状態)にしたバッテリーパックを充電する場合は、通常時に比べ、充電に時間がかかることがあります。また、ステータスLEDが緑色に点灯しても満充電にならない場合があります。バッテリーの容量を確認して充電が不十分な場合は、ACアダプタを取り付け直して、再充電してください。

バッテリーを充電するときの注意

- ・バッテリーを充電するときは必ず、装置に入れて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があります。破裂・発火の原因になります。
- ・バッテリーを充電する時は、お使いになる装置で充電してください。ほかの装置で充電すると、満充電にしても動作時間が短くなる場合があります。
- ・バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本体から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。
- ・必ず満充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない状態で少量の充放電を繰り返すと、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- ・購入直後や長時間放置したバッテリーでは、バッテリー駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリー残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。
- ・ご購入時、バッテリーパックは充電されていません。充電してからお使いください。

バッテリー充電のしかた

バッテリーパックを本体に取り付けたまま、AC アダプタをAC コンセントに接続してください。自動的にバッテリーの充電がはじまります。

バッテリーの充電状態を、ステータスLEDで確認することができます。

LED		状態
オレンジ	点灯	バッテリー充電中
緑色	点灯	バッテリー充電完了
消灯		AC アダプタが接続されていない
		バッテリー駆動
赤色	点灯	バッテリーが入っていない状態の AC 駆動
		バッテリー異常。取り付け直してください。それでも直らないときは、バッテリーを交換してください。

バッテリーパックの交換

交換の目安 （ご購入後1年または充放電300回）

満充電（バッテリーを充電してステータス LED が緑色に点灯した状態）で使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

交換する前に

- ・バッテリーパックの交換は必ず電源を OFF にしてから行ってください。電源が ON のときや、サスペンド状態のままバッテリーパックを取り外すと、メモリされたデータが消えてしまうことがあります。

使用できる交換用バッテリーパック

本体のバッテリー収納部に取り付けることのできる交換用のバッテリーパックは、次の通りです。

型番 ALFARK-800BP

品名 BATTERY PACK

バッテリーパックを交換するときの注意

- ・バッテリーパックの交換を行う際は、『安全上のご注意』を必ずご覧ください。
- ・バッテリー収納部の端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
- ・バッテリーパックの交換を行うときは、本体の電源を切りACアダプタを抜いてください。
- ・特に必要でない限り、バッテリーパックを交換しないでください。故障の原因となります。
- ・初めて装置を使用する場合や、バッテリーの交換（バッテリーカバーの開閉）を行った場合は、必ず満充電にしてから使用してください。満充電せずに使用した場合は、動作時間が短くなる場合があります。
- ・バッテリーパックを出し入れする時は、必ず装置を手を持って行ってください。

バッテリーパックの交換のしかた

- 1 本体の電源を切ります**

電源スイッチを長押し（約 3 秒）し、電源を切ります。
サスペンド状態のときは、一旦サスペンド状態から復帰した後、電源スイッチを長押し（約 3 秒）し、電源を切ります。
- 2 ACアダプタのプラグをAC コンセントから抜いて、AC アダプタを本体から取り外します**
- 3 本体を裏返します** イラストは電源の接続（P18）参照
ロックレバーを矢印の方向（OPEN 側）へスライドさせます。
バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせます。
バッテリーカバーを持ち、上に引き上げて取り外します。
- 4 本体を手に持ち、交換するバッテリーパックを取り出します**

本体を手に持ったまま、新しいバッテリーパックをセットします。
- 5 バッテリーカバーを閉めます**

バッテリーカバーを矢印の方向へ差し込みます。
バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせカバーを静かに閉めます。
ロックレバーを矢印の方向（LOCK 側）へスライドさせます。

バッテリーカバーが確実にロックされていることを確認します。

省電力機能

省電力機能によって本体が電力を節約している状態を、サスペンド状態と呼びます。

サスペンド状態

本体の液晶ディスプレイなどの電源を切り、消費電力を節約している状態です。本体の電源は完全には切れていません。作業中のデータがメモリに保存されているため、わずかに電力を消費しますが、サスペンド状態を解除すると、すぐに作業の続きをはじめることができます。少しの間、作業を中断する場合などに便利です。

サスペンド機能を利用するときの注意

サスペンド機能を利用できないとき

- ・次のようなときには、サスペンド機能を使用しないでください。本体が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。
 - コンパクトフラッシュカードなどの読み書きをしているとき
 - 省電力状態に対応していないアプリケーションや周辺機器を使用しているとき
 - LAN またはワイヤレスLAN で通信作業をしているとき
 - 通信用のアプリケーションを使用しているとき
 - 電話回線を使って通信しているとき

サスペンド状態にするときの注意

- ・サスペンド状態への移行中にコンパクトフラッシュカードなどの入れ替えを行わないでください。
- ・サスペンド状態のときに、コンパクトフラッシュカードの入れ替えや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

副電池の交換方法

副電池（リチウムボタン電池）を交換します

副電池の残量は「設定」「コントロールパネル」「パワーマネージメント」の「バッテリー」タブ（バックアップバッテリー側）で確認できます。

「残りわずか」の状態になったら、以下の手順に従い、早めに副電池の交換を行ってください。

交換する前に

- ・副電池の交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。電源がONのまま電池を取り外すと、メモリされたデータが消えてしまうことがあります。
- ・バックアップ用副電池（リチウムボタン電池）とバッテリー（リチウムイオン充電電池）は同時に外さないでください。同時に外しますと、プログラムやデータが消去されたり、時計が狂ったりします。
- ・交換するリチウムボタン電池は「CR2032」と明記されているものをご使用ください。
- ・不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店などの指定の拠点へお持ちください。
- ・副電池収納部の端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。

大切なデータは定期的にバックアップしてください

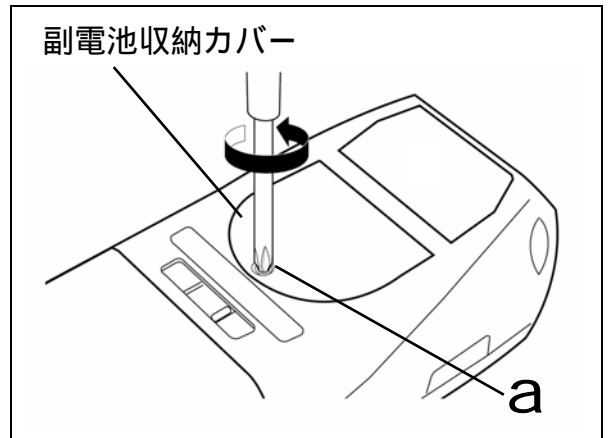


強制

- ・バッテリーが消耗した状態、あるいはバッテリーパックが取り外された状態で副電池を外すと、内部データが消えてしまったり、変化してしまうことがあります。一度消えたデータは元に戻すことはできませんので、大切なデータは必ずバックアップしてください。

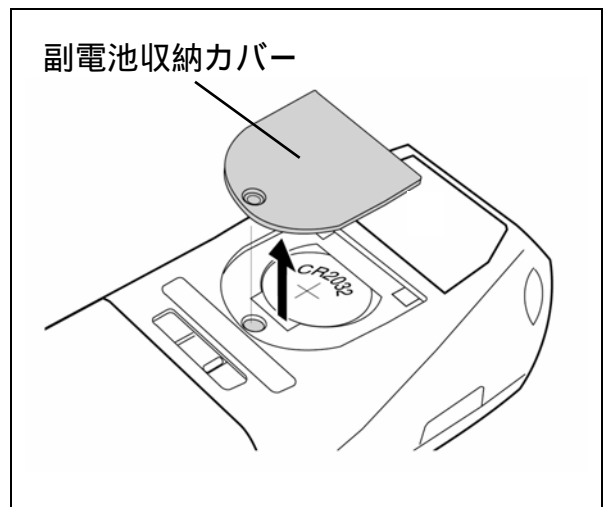
- 1 本体の電源スイッチを切ります。本体裏面より副電池収納カバーを固定しているネジ（a部）をゆるめます。

固定用ネジは電池の交換が完了するまでなくさないように保管してください。



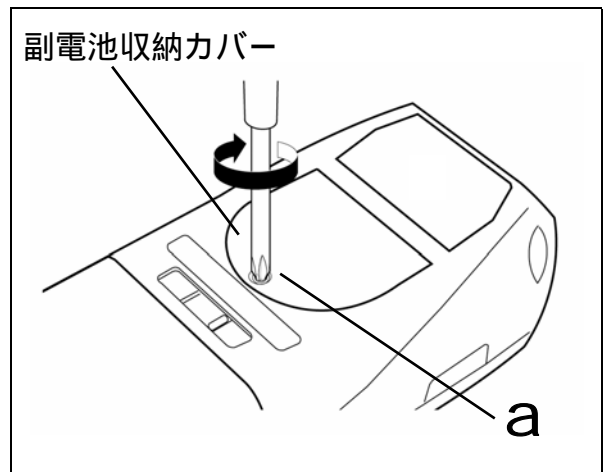
- 2 副電池収納カバーを取り外します。本体を裏返してリチウムボタン電池を取り外し、本体を手に持ち、新しいリチウムボタン電池（CR2032）に交換します。

副電池収納カバーが取り外せない場合は本体を裏返すと簡単に外れます。
リチウムボタン電池は（+）極を上向きにしてセットします。
リチウムボタン電池の表面が濡れている場合はよく拭き取ってからセットしてください。



- 3 副電池（リチウムボタン電池）の（+）極が上にセットされていることを確認したら、副電池収納カバーを元の位置に戻します。ネジ（a部）で固定します。

副電池収納カバーには向きがありますので注意してください。
副電池カバーにガタ付きがないことを確認します。



● 周辺機器の接続方法

ここでは、周辺機器の接続方法を説明します。

コンパクトフラッシュカードスロット

本機ではコンパクトフラッシュカードを使うことができます。

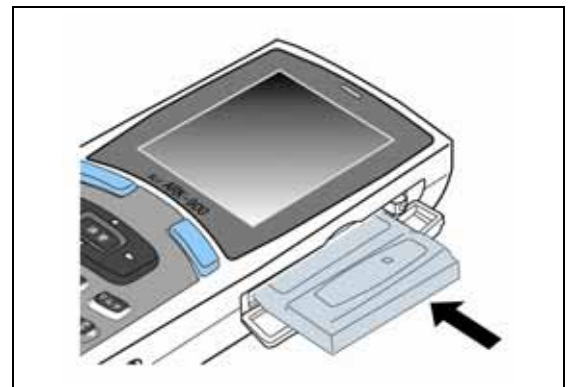
コンパクトフラッシュカードをセットする / 取り出すときの注意

- ・コンパクトフラッシュカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損する恐れがあります。
- ・アプリケーションを使用中は、コンパクトフラッシュカードをセットしたり、取り出したりしないでください。
- ・コンパクトフラッシュカードの認識、停止操作等については、使用しているソフトウェアのマニュアルに従ってください。
- ・コンパクトフラッシュカードを取り出すときは必ず、イジェクトボタンを押して取り出してください。イジェクトボタンを押さないで無理に取り出すと、装置を破損する恐れがあります。

コンパクトフラッシュカードをセットする

1 カバーを開け、コンパクトフラッシュカードを差し込みます

向きを確認し、ラベル面を上にして、スロットにまっすぐ差し込んでください。



コンパクトフラッシュカードを取り出す

- #### 1 イジェクトボタンを1回押します ()
- イジェクトボタンが飛び出します ()。
- 更にもう1回押す () とコンパクトフラッシュカードが少し飛び出します ()。

2 コンパクトフラッシュカードをまっすぐ引き抜きます

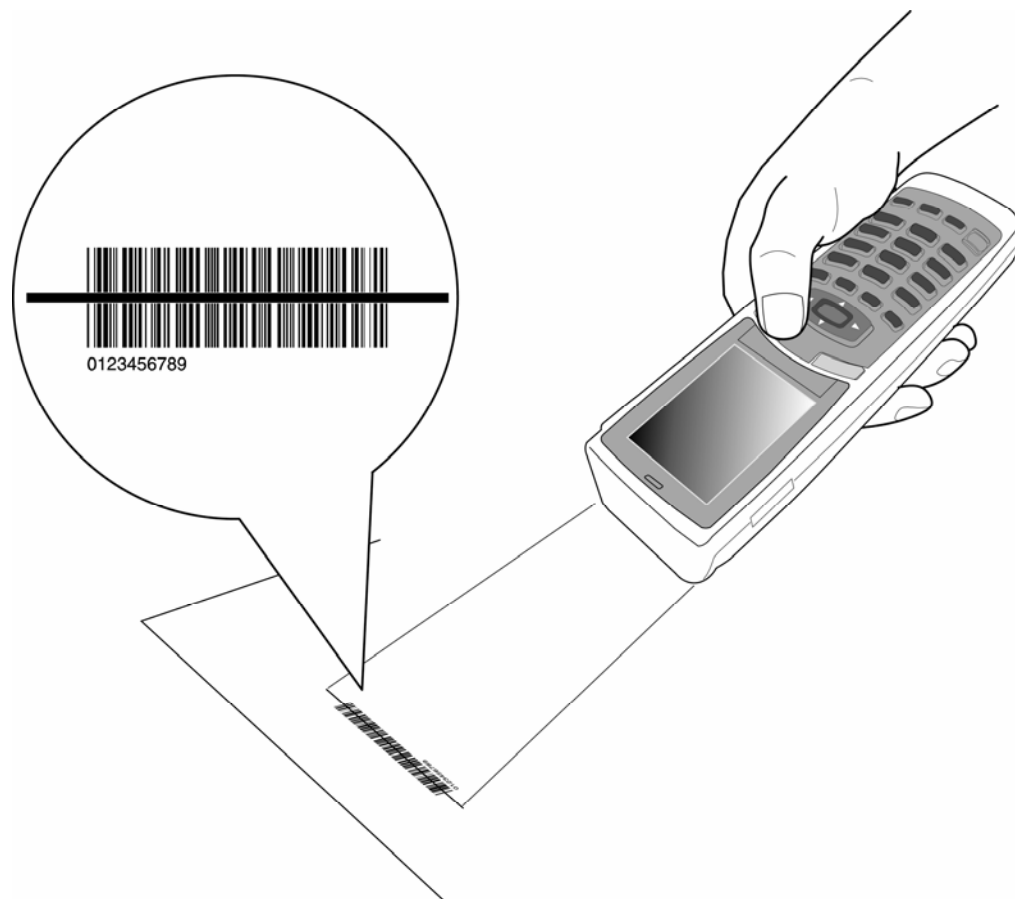
コンパクトフラッシュのカバーを閉める時は、イジェクトボタンが飛び出していない状態で閉めてください。



● バーコードの読み取り方

レーザー光を照射して、バーコードを読み取ります。

- 1 バーコードに対して水平方向に赤色レーザーが照射されます。



使用上の注意

- ・ バーコードラベルが読み取れないときは、ラベルに対してレーザー光の照射角度を変えたり、ラベルとの距離を調整し、再度読み取りを実行してみてください。
- ・ 読み取ろうとするバーコードラベルの幅が広いものに対してはレーザー照射口を少し離して読み取ってください。また、読み取りの際は、読み取り面から 5cm 以上離してください。

● モデム認証番号の確認方法

本機に搭載しているモデム基板は、電気通信事業法第 50 条の 4 第 2 項の規定に基づく端末機器の設計についての認証を受けております。

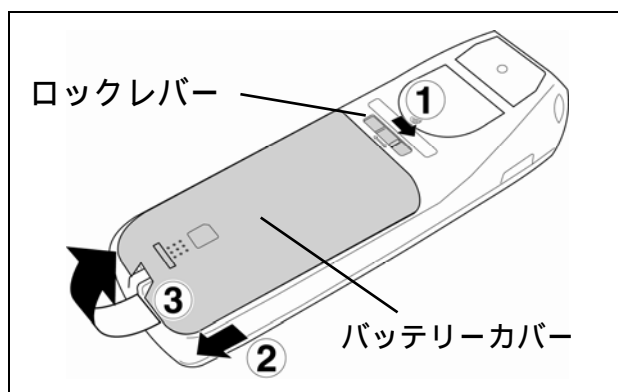
機器組み込み単体基板にて認証を受ける際の、条件によりモデム基板の取り付け・取り外し方法を以下に示します。

実際に、ARK-900 を分解された場合は、装置の保証ができなくなります。ご注意ください。

モデム基板の取り外し方法

1 本体を裏返します。

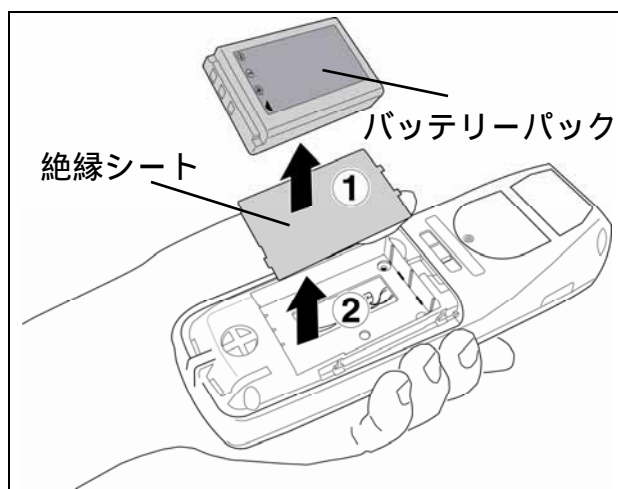
AC アダプタが接続されていないことを確認し、ロックレバーを矢印の方向（OPEN 側）へスライドさせます。バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせます。バッテリーカバーを持ち、上に引き上げて取り外します。



2 バッテリーパックを取り外します。

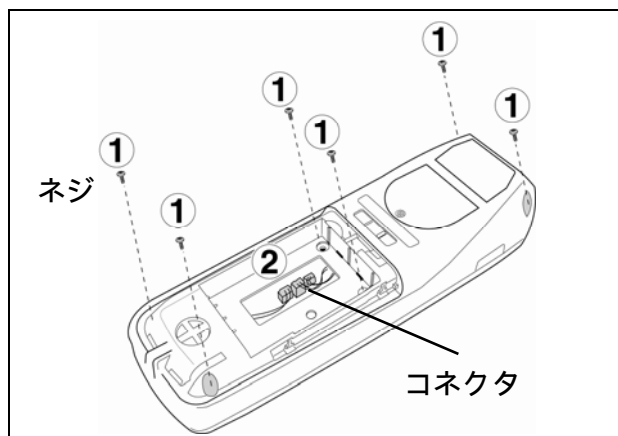
バッテリーパックを取り外します。絶縁シートを取り外します。

バッテリーパックの取り付け / 取り外しをするときは必ず、本体を手にとって行ってください。



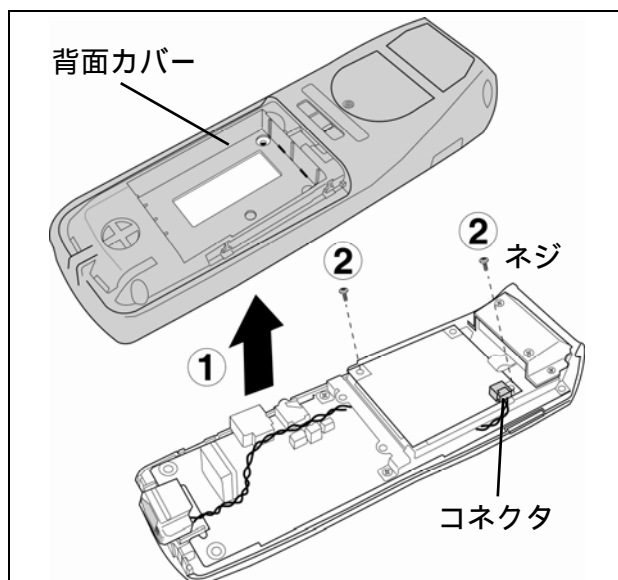
3 背面カバーを外します。

背面の隅 6 ヶ所のネジを外します。
3 ヶ所のコネクタを外します。



4 モデム基板のネジを外します。

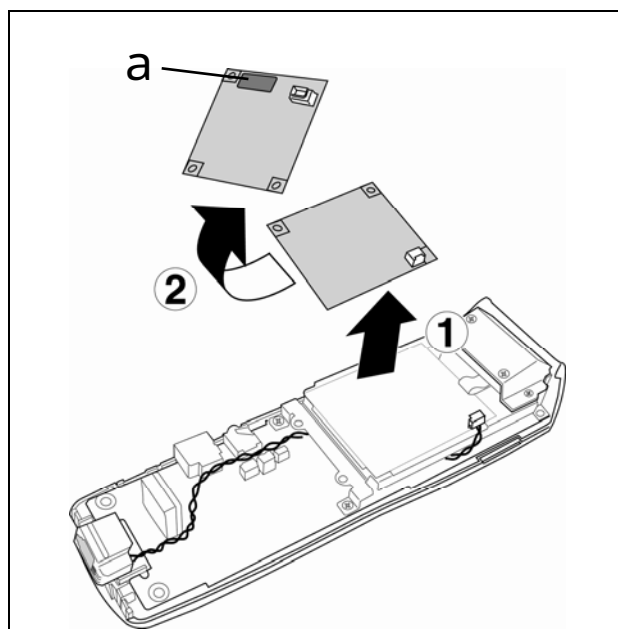
背面カバーを取り外します。
モデム基板の2ヶ所のネジとコネクタ
を外します。



5 モデム基板の認証番号を確認します。

モデム基板を取り外します。
モデム基板を裏返し、図の a 部のシールに
記載されている認証番号を確認します。

モデム基板の取り付けは、取り外し手順の
逆の手順にて行ってください。



● 主な仕様

仕様や外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本体部	CPU	32 ビット
	メモリ	SDRAM : 64MB FROM : 64MB
表示部	表示タイプ	2.2 型 TFT QVGA カラー (LED バックライト)
	ドット構成	320 (縦) × 240 (横) ドット
操作キー	構造	防滴 型相当
	数	キーストロークキー (25 個)、トリガキー (2 個)
通信機能	モデム 1	V.90 伝送速度 最高 56000bps 発信専用
	シリアル通信	RS232C インタフェース: 専用 2.5 ミニプラグ 通信方式 : 全 2 重 同期方式 : 調歩同期 伝送速度 : 300 ~ 115200bps
	IrDA	赤外線インタフェース (IrDA Ver1.2 準拠) 通信方式 : 半 2 重 同期方式 : 調歩同期 伝送速度 : 2400 ~ 115200bps
	USB	USB 1.1 対応のデバイスポート I/F を搭載 (但し、ステーション (ARK-900ST) 使用時のみ利用可能)
スキャナ部	種類	赤色半導体レーザ 発光波長 650 ± 10 nm
	読取コード	WPC (JAN/EAN/UPC)、Code39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、Code-93、Code-128、MSI/Plessy、IATA
	分解能	0.15 mm
	読取距離	約 50 ~ 300 mm 以内 (分解能 1.0mm、PCS=0.9 以上)
電源部	主電源	リチウムイオン充電電池 (1800mAh 3.7V) 動作時間: 約 10 時間 2
	副電池	リチウム 1 次電池 (CR2032 : 1 個)
外形	寸法	169 (L) × 55 (W) × 30 (H) mm (ただし、突起部を除く)
	質量	約 225 g
電気通信事業法 技術基準適合認定に 関する表示		認証番号: A04-0017-005 本モデム基板は、ARK-900 専用です。他の装置ではお使い頂けません。 本モデム基板は、日本国内専用です。海外ではお使い頂けません。

- 1 : ・ 56000bpsの通信速度はV.90に対応したプロバイダから受信するときの最高速度です。
プロバイダへの送信は33600bpsまでとなります。
・ モデム同士では、56000bpsの通信はできません。
- 2 : 使用条件：弊社規定の測定条件による。
- ・ バッテリー満充電時（但し、バッテリーパックは新しいもの）
 - ・ 周辺機器、コンパクトフラッシュカード全て未接続
 - ・ バックライト：最低、キーボード照明：OFF
 - ・ バーコードスキャンを 10 秒に 2 回実行
 - ・ バーコードスキャン実行以外の操作はしない（待機状態）

ALFARK-900 ユーザーズガイド
平成 18 年 2 月 28 日発行(第 2 版)

株式会社アルフ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-2-4

TEL 03-5411-5511 FAX 03-5411-5512

ホームページ <http://www.alf-net.co.jp>



Li-ion

リチウムイオン電池
のリサイクルに
ご協力ください。

YNJ-0000172-001